

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	Kashiwa Special Sounds		
所在地	千葉県柏市	設立年	2015年
運営主体	Kashiwa Special Sounds これまで吹奏楽のイベントを多数開催。単に演奏を聴いてもらうだけでなく、楽器販売会社の協力を得て楽器体験を行ったり、楽器を持参した方や手作りのシェーカーを配布し吹奏楽コンクールの常連校である市立柏高等学校と一緒に演奏するなどの参加型のイベントを行ってきた。		
事業目標	吹奏楽団を立ち上げるにあたっての課題としては①楽器の確保②練習場所の確保 予算面で持続可能な運営を行うには③団員18名以上が必要 これらをクリアすることが現時点での事業目標となる。 また、立ち上げからの課題解決方法など様々な取り組みをモデルケースとして全国に発信する。		
きっかけ	教員の働き方改革及び部活動の新しい指針に基づき、今後は「学校部活動」から「地域部活動」への移行がすすんでいく。 部活動では顧問となる教員の負担が大きく、吹奏楽が盛んな東葛地区だからこそ地域人材を活用するなど地域課題として取り組む必要があると考え、吹奏楽を楽しみたい学生の受け皿、教員への負担軽減、地域でこれまで培った人材を活用、の3つを柱に東葛地域の学生(小学4年から大学生までを想定)を対象とし、吹奏楽の演奏を通じ協調性や人間形成の場とする「東葛吹奏楽団」を立ち上げた。		
団体・組織等の連携			
活動場所	柏市中央公民館 柏市の近隣センター		
活動概要	毎週日曜 13:00-17:00に練習を行っている。 順位づけされるコンクールには出場せず、地域のイベントや夏祭りなどでの演奏披露と年に1回行う定期演奏会が活動の主体となる。		

## ○本事業による成果

### ○メンバー数

・学校も違う小学5年生～高校3年生まで14名

→学校の吹奏楽部にも所属している:内6名

教員の負担軽減に直接寄与できている訳ではないが、学校部活動以外の受け皿としての体制は整ってきたものとする。

### ○楽器提供の実績

・寄付5台:トランペット2台、コントラバス(使用中)、電子ドラム(使用中)、ダブルホルン

・一定期間貸出6台:チューバ(使用中)、ピッコロ(使用中)、フルート、シングルホルン、ユーフォニアム、クラリネット

### ○演奏実績:4回

・2022/3/19 第一回定期演奏会

・4/24 柏の葉ローカル&クラフトマーケット出演

・10/9 柏 de 吹奏楽PARTY♪! 2022出演

・12/18 柏モディde Merry X'mas Show出演

### ○メディア取材実績:6紙、2放送

・新聞3紙:柏市民新聞3/25号、読売新聞8/29号、東葛まいにち1/25号、ちいき新聞3/17号

・2月に取材済み(掲載待ち2紙):読売新聞、朝日新聞

・ケーブルテレビJ:COM:「ジモト応援!千葉つながるNews」出演:10/17放送、3/6放送

### ○SNSの活用:Twitterフォロワー1300人超

→全国の吹奏楽団と相互フォローを行い、楽団運営の工夫などの情報発信を行う。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

### ○現役で活動しているプロによる指導

・プロによる指導やその他にも第一線で活躍しているパート毎のゲスト講師がレッスンを行う。

→プロ講師による専門的な話や奏法が学べる点は学校部活動にない取り組みとなっている。

### ○パート別に個別レッスンを実施(不定期)

・奏法の悩みなどを直接、各楽器専門のプロに指導してもらうことができる。

### ○指導方法

・講師からの一方的な指導はせず問いかけや双方向のやり取りに重きをおいた結果「自分の考えを発言できるようになった」「人と話すことが平気になった」「集中力がついた」といった保護者の声をいただいた。

## ○運営上の工夫

### ○コンクールを目指さない

・受賞がゴールになってしまうコンクールは目指さず、定期演奏会や地域イベントでの演奏披露を主な活動としている。

### ○音大生のアシスタント

・4名の音大生が週替わりでアシスタントとして指導。

### ○楽器の確保

・楽器を持っている人しか入団することができなかったが楽器の寄付・無償レンタルを募ったところ11台の楽器が集まり4台の楽器は実際に団員が使用中。

### ○LINEの活用

・レッスン時に演奏した動画を撮影しその日のうちにメンバー・保護者にLINEで配信。

自宅でも演奏動画を何度も聞き返すことで、次回レッスン時に修正すべき点を各自が認識し効率的にレッスンに臨むことができる。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

### ○練習場所の確保

・現在は公民館を借りて活動しているが毎回確保できるわけではない。①音出し可能②駐車場③電源利用④トイレ利用。これらをクリアした場所の確保が望まれる。

### ○楽器の保管や運搬

・現時点で団としての大型楽器は保持していないが今後大型楽器の保管場所や運搬についても検討することが必要になる

→定期演奏会で大型楽器を利用する際は、近隣の社会人吹奏楽団が「運搬、搬入、組み立て、搬出」を無償で行ってくれた。楽器保管ができる練習場所の確保が望まれる。学校の体育館など。

### ○団費について

・プロの指導がこの金額は安い。と思って入団した。という声を保護者よりいただいた。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

コロナが明け、公民館などの利用が増えてきた為、練習場所を確保することが困難。  
 学校や体育館などの施設を、積極的に地域部活動に開放してもらえるよう文化庁から地方自治体へ促してもらえると助かる。  
 教育委員会指導課にも相談したが、各学校の校長先生と話してもらうのが一番早い。という回答だった。  
 校長先生との接点がないため、現在では公民館での練習にとどまっている。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	14名(小学生3名、中学生5名、高校生6名)
	学校名	柏市立柏第一小学校、柏市立中原小学校、柏市立土中学校、柏市立光ヶ
	募集方法	・体験会、見学会の開催 ・運営メンバーによるSNSの告知
指導者	人数等	講師陣2名、音大生によるアシスタント4名、ゲスト講師(不定期、数名)、パート別講師(不定期、9名)
	募集方法	・音楽大学出身者からの声かけ ・SNSによる告知
参加者の移動手段		車、公共交通機関
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金 15,000円/日 アシスタント 5,000円/日
	その他	地元企業による寄付
活動財源	会費	入団金(初回のみ) 10,000円 月会費 12,000円
	その他	
スケジュール	基本活動	毎週日曜 13:00-17:00
	年間	年48回
保険加入等		なし

# 【活動の様子（写真添付）】

